

「アメリカ山公園」管理運営事業者公募 における優先交渉権者決定について

平成19年12月から公募を行ってまいりました「アメリカ山公園」の管理運営事業者につきまして、外部委員で構成する選定委員会において審査を行った結果、「東急コミュニティーグループ」を優先交渉権者に決定いたしました。

今後、横浜開港150周年となる平成21年春の完成に向け、施設の運営や整備に関し詳細を協議し、基本協定の締結を目指してまいります。

1 事業目的

「アメリカ山公園」は、都市部における貴重な緑とオープンスペースの確保を図るため、みなとみらい線の「元町・中華街駅」の駅舎上部を4階建てに増築し、屋上部とアメリカ山敷地を園地として整備するもので、我が国初の「立体都市公園」となります。

駅舎の増改築部分は、飲食・物販施設などとして運営することで、元町・山手地区の賑わいと利便性の向上を図り、都市の魅力を更に引き出すことを目的としています。

今回、民間事業者の優れたノウハウを活用し、便益施設の運営をはじめとした魅力ある公園施設の効率的な管理運営及び活気ある街づくりの推進を図るため、「アメリカ山公園」管理運営を行う事業者（管理運営事業者）の募集を行いました。



-アメリカ山公園イメージ図-

2 公募概要

- (1) 公募対象 民間事業者（法人）
- (2) 管理範囲 園地、共用部(建物内通路)、便益施設
- (3) 管理形態 公園施設の管理許可（許可期間10年、更新可）
- (4) 施設規模 公園面積：約5,500㎡ 便益施設床面積：約1,700㎡

3 選定結果

優先交渉権者：東急コミュニティーグループ

- ・代表企業 株式会社東急コミュニティー
- ・構成団体 株式会社石勝エクステリア
- ・同 株式会社辻本龍松園

一次審査 (書類審査)	二次審査 (ヒアリング審査)	最終結果 (合計点)
86.6点 /100点	39.8点 /50点	126.4点 /150点

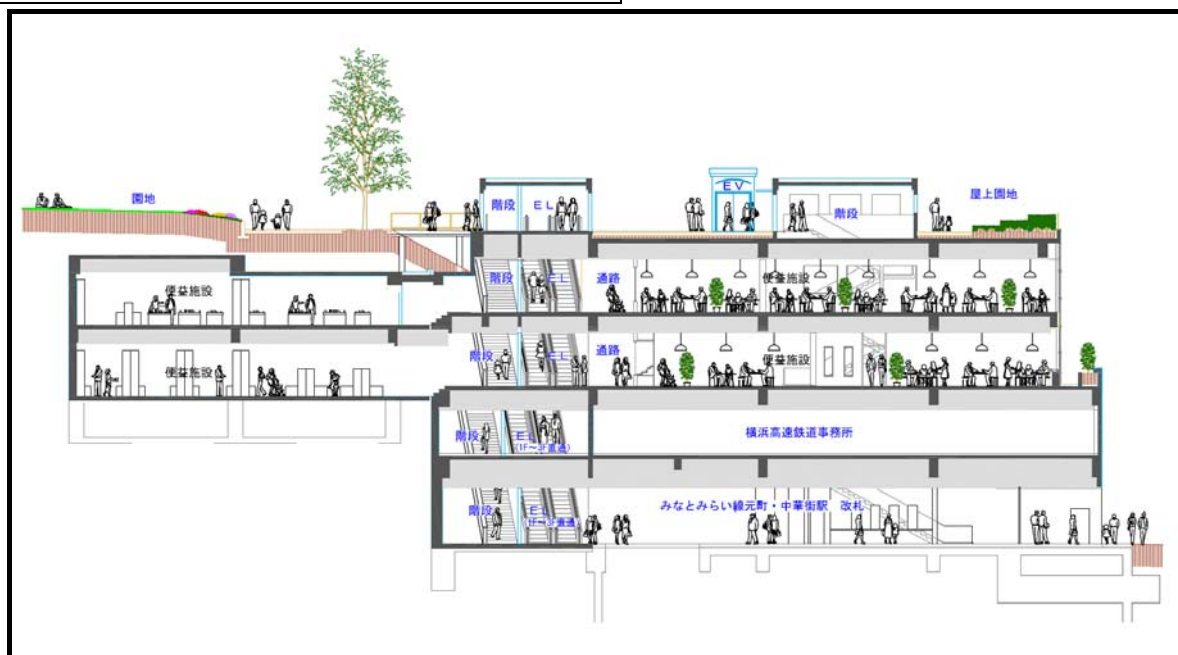
(※応募は1社)

○提案内容のポイント

「ホスピタリティー（もてなしの心）あふれるサービス」を基本コンセプトとし、幅広い世代が関心を持つ「食」「遊」「学」を融合させた便益施設と、元町・山手地区の観光拠点にふさわしい魅力ある園地づくりを融合させ、元町・山手地区の新たな魅力を作り、更なる賑わいの形成をめざす提案内容となっています。

<参考>

【参考図】アメリカ山公園(建築部)断面イメージ図



・ 現況2階建ての「元町・中華街駅」駅舎を4階建てに増築し、エレベーターなどの昇降施設を設置することにより、18mの高低差がある元町地区と山手地区のバリアフリー化を図り、円滑で快適な回遊動線を確保します。

・ 3階・4階の建物の増築部分は、公園利用者へのサービスと公園の魅力の向上、地域の活性化のため、飲食・物販などの便益施設として活用を図ります。

立体都市公園制度について

「立体都市公園」制度は、平成16年6月の「都市公園法」改正により新たに設けられた制度で、特に市街地など都心部における土地の有効利用を図るため、都市公園の区域を立体的に設定するものです。

具体的には、アメリカ山公園のように建物の屋上に都市公園を設置するケースや、その他人工地盤上に都市公園を設置するケースなどが想定されています。

アメリカ山公園 施設概要

- (1) 公園面積 : 全体 5,520 m² (園地部分 4,630 m²、駅舎敷地部分 890 m²)
- (2) 建築面積 : 1,154 m²
- (3) 延べ床面積 : 3,954 m² (うち便益施設 3階 887 m²、4階 837 m²、計 1,724 m²)
- (4) 完成予定時期 : 平成21年春
- (5) 名称の由来 :

当地は、明治期初頭の米国公使館ゆかりの土地であり、戦後は、米軍の施設用地として利用された歴史を持つことから、山手地区の「フランス山」「イタリア山」と同様に「アメリカ山」と呼ばれました。

<参考>

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 1865年～1874年 | A.L.C.ポートマン (一等書記官) が居住 |
| 1873年～1876年 | 近隣 (現在の横浜气象台付近) には米国病院があった。 |
| 1923年 | 関東大震災で崩壊 |
- 戦後はアメリカ軍の施設が建設された。